

近畿建設リサイクル表彰	奨 励 賞 (技術開発研究部門)
受 賞 者	稲積 真哉 (明石工業高等専門学校)
所 在 地	兵庫県 明石市
受 賞 テ ー マ	建設系廃棄物のリサイクルにおける社会環境評価手法の技術開発に関する研究活動
<p>【取組概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的・独創的に実施している研究では、建設系廃棄物のリサイクルにおいて、従来の決定基準であるコストだけでなく、環境負荷をも考慮した社会的評価モデルの開発・構築を行っている。 ・リサイクルの際には様々な環境負荷が発生すると考えられ、対象に応じて適切な環境影響評価手法を考慮して環境負荷をコストベースに換算することが重要であると考えられる。 ・開発・構築された当該評価モデルは、バージン材とリサイクル材の社会的評価を定量的に示している。 ・もしリサイクル材が社会的に劣っているという評価を得た場合、リサイクルを阻害する要因の特定を行うことができる。 ・リサイクルは様々な要素が複雑に絡み合っているため、一意的な評価は難しいと考えられることから、不確実性をも考慮した当該評価モデルの高度化も行っている。 ・リサイクルにおける不確実性を評価するために、感度分析やモンテカルロシミュレーションといった手法を採用している。 ・これらにより得られた結果を頻度分布で示すことで、リスクを定量的に評価することが可能としている。 <p>【評価】</p> <p>建設廃棄物のリサイクルにおいて、従来のコスト比較ではなく新材と再生材それぞれにおいて発生する環境負荷を境影響評価手法により考慮し、コストベースに換算して比較するモデルの開発は全国でも新しい取り組みであることから、優れた取組であると評価できる。</p>	